

< 報道関係各位 >

業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高に関する調査結果 (2019年10-12月期分)

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：加藤 利男）が実施する業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高（2019年10-12月期分）についてお知らせします。

本調査は、住宅ローン市場の規模を把握するため、当機構（旧住宅金融公庫）が1989年度から日本銀行統計に加え、各業界団体等の協力を得て、取りまとめている業態別の住宅ローン新規貸出額（フロー）及び貸出残高（ストック）に関する調査です。

調査結果の詳細は、機構ホームページをご覧ください。

(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_zandaka.html)

調査結果の主なポイント

- 2019年10-12月期の主な金融機関の住宅ローン新規貸出額（借換を含む。）は、4兆9,611億円と対前年度同期比で0.5%減少しました。

住宅ローン新規貸出額

| | 2019年度 | | | (参考) 2018年度 |
|--------------------|------------|------------------|---------|----------------|
| | 10-12月期 | | | 10-12月期 |
| | 金額 (億円) | 前年度同期比 増減(億円) | 同伸び率 | 金額 (億円) |
| 国内銀行 | 33,545 | 174 | 0.5% | 33,371 |
| 信用金庫 | 3,774 | △ 33 | △ 0.9% | 3,807 |
| 信用組合 | 523 | △ 1 | △ 0.3% | 524 |
| 全国信用協同組合連合会 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 |
| 労働金庫 | 4,799 | △ 505 | △ 9.5% | 5,305 |
| 生命保険会社 | 232 | △ 16 | △ 6.3% | 248 |
| 住宅金融専門会社等 | 968 | 111 | 13.0% | 857 |
| 住宅金融支援機構（買取債権）(※) | 5,697 | 59 | 1.1% | 5,638 |
| 住宅金融支援機構（個人向け直接融資） | 73 | △ 21 | △ 22.5% | 94 |
| 合計 | 49,611 | △ 232 | △ 0.5% | 49,843 |

※ 住宅金融支援機構（買取債権）とは、【フラット35（買取型）】をいいます。

(注1) 日本銀行統計の計数訂正により、2018年度10-12月期の国内銀行の住宅ローン新規貸出額の値を訂正しております。

(注2) 四捨五入により、各業態の数値を合計した数値と合計欄の数値が一致しない場合があります。また、前年度同期比増減欄及び同伸び率欄の数値と実際の計算値が一致しない場合があります。

<報道関係者の方からのお問合せ先>

経営企画部広報グループ 長福／井田／永田／池森
TEL：03-5800-8019

(参考)

■住宅金融支援機構が実施している住宅ローン関連調査（令和2年度 公表予定）

〈フラット35利用者に係るデータ分析〉

(1) フラット35利用者調査（8月頃）

フラット35利用者の属性、資金計画、住宅等について集計・分析

〈インターネットを通じたアンケート調査〉

(2) 民間住宅ローン利用者の実態調査（5月、7月、12月頃）

民間住宅ローン利用者の住宅ローン選びに関する意識や行動、住宅ローン利用予定者の住宅取得に関する意識や行動等を調査

(3) 民間住宅ローン借換の実態調査（9月頃）

住宅ローンの借換を行った方の住宅ローンの金利タイプの変化や借換理由等を調査

〈金融機関へのアンケート調査〉

(4) 民間住宅ローンの貸出動向調査（12月頃）

民間金融機関の住宅ローンの貸出状況、取組姿勢等を調査

〈データ、統計資料等の集計〉

(5) 業態別住宅ローンの新規貸出・残高（5月、8月、10月、1月頃）

金融機関、各業界団体等への照会結果、日銀の統計資料等を集計（一部推計）

※ 調査の項目や内容は、変更する場合があります。詳しくはお問合せください。